

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

コレラに立ち向かった 石橋猷菴

その3

天然痘とコレラの予防と根絶に、寝食を忘れて奔走した石橋猷菴と熊谷文叔。2人の医師がいたことは郷土の誇りです。ここでは、その後を得た知見を補足して、まとめたいと思います。

藩論の累が猷菴にも及ぶ

慶応4年（1868年）2月のこと。藩主と共に大坂に滞在していた猷菴は、急に帰国の命令が下され、比役奥詰という役を罷免されます。

当時の久留米藩では藩論が二分しており、同年1月26日には尊王攘夷派の藩士、小河真文ら24人が佐幕派領袖の参政職、不破美作を暗殺する大事件が起きました。同年4月6日には家老職の有馬監物以下、佐幕派30数人が処罰されています。

これを機に久留米藩では藩論が尊王攘夷へと転換します。猷菴が罷免され、君主の側を離されたのも、無関係ではないようです。

前月号で紹介した墓碑銘にあるように、猷菴の娘婿には戸田乾吉がいます。彼は佐幕派に属した人物です。このような背景の中で、奥詰として

君主の側に仕える医師猷菴にも、累が及んだのではないでしょうか。

当条納骨堂の石垣の中に、初代の道隣・二代目の有隣・三代目の猷菴の弟、慎哉（猷菴が久留米に出るときにあつたことを託した人物）の、3基の墓塔が見つかり、郷土史研究会の有志で拓本を採って確認することができました。残念ながら猷菴の墓塔は見つかっていませんが、墓碑銘が残っていることは幸いです。

君主の側を離れた猷菴は、帰国後、吉里村で開業します。当条の自家では、慎哉が隠退した後、猷菴の息子道純が医業を継いでいます。

熊谷文叔の新しい知見

子孫の人からの情報では、文叔は長崎に遊学する前から医学に縁りがあったようです。いったん播磨國に戻って結婚し、再度長崎へ医学の修業に出たとのこと。

そのときに久留米藩と何らかの関係ができたとうかがえます。

吉常村の墓地には文叔の手となる来歴碑

（畳一枚ほどの大きさ）があったと言います。これも郷土史研究会の有志で探してみましたが、残念ながら確認することはできませんでした。

吉常村で御大典を記念して行われた四社合祀事業（昭和4年）の寄付者の中に、熊谷文英（文叔の嗣子）の名が残されていることも新しい知見です。文叔が吉常村に來住した理由は今も不詳で、さらに研究と調査を期したいと考えます。



戸田乾吉（石橋猷菴の娘婿）

幕末期、久留米藩で藩論相剋の中処刑された、佐幕派の10人をたたえる「十志士碑」の建立発起人となり、自ら碑文をまとめ上げた。碑建立にあたっての寄付者の1人に、義父である石橋猷菴の名もみえる。

出典：「明治2年殉難十志士余録」鶴久二郎発行

広川町古墳資料館だより

現在、九州国立博物館には石人山古墳出土の家形埴輪が展示されています。

家形埴輪は、古墳時代の建物の屋根や壁の構造がよくわかる形象埴輪の一種です。今から約60年前、石人山古墳の前方部南裾の部分で約4個体分の破片が採集され、そのうち1個体が復元できました。過去

に一度だけ、古墳公園資料館でも企画展で展示されたことがあります。

石人山古墳の被葬者に関係する人たちの生活が感じられる考古資料であるため、現在の展示が終了したら、次回は当資料館で長期展示できるよう依頼中です。



石人山古墳出土の家形埴輪



筑後リバース所属の山崎さん

野球と水泳で全国大会優勝

山崎源太さん・池田莉央さん

3月27日(土)～29日(月)に行われた「2020年度日本旅行カップ第5回全国選抜中学校硬式野球大会」に山崎源太さん(当時広川中学校2年生)が出演し、優勝しました。山崎さんは「全国大会では、味方のエラーをチームのみんなでカバーし合い、優勝することができました。今後の目標はジャイアンツ杯に出場することです。支えてくださる人たちへの感謝を胸に、日々緊張感をもってがんばります」と話していました。

なお、山崎さんには、広川町と広川町体育協会から青少年の健全育成を目的に寄与される補助金が贈られました。

3月26日(金)～30日(火)に行われた「第43回全国JOCジュニアオリンピック春夏水泳競技大会47都道府県通信競技大会」に池田莉央さんが出場し、50メートルバタフライで優勝しました。池田さんは「1位になれてとてもうれしいです。もっと練習に励んで、他の種目でも優勝できるように江上コーチとがんばっていきます」と話していました。

なお、池田さんには、広川町体育協会から青少年の健全育成を目的に寄与される補助金が贈られました。



左から池田さん、江上コーチ

広川文芸

広川短歌会



連れ添うて五十五年目子や孫の祝いの言葉うれしくもあり

蓮子 住雄

ふるさとの土をまといし筍を母の味にと時間をかける

野中 勝美

落葉踏むふたりのくつ音とりの声とけ合ひてゆく磐井の森に

青木佳代子

道の辺に雑草あらくさのなかほつこりと蒲公英の黄はほほえむごとし

野中ヨシ子

七百本植えし玉ネギ豊作に百本ほど抜き あとどうしよう

原 千恵子

絶景の展望所にはシバザクラ空と海と木々の青の広がる

高橋 和子

紫のヴェールを被る境内に二礼二拍手ひとつを願ふ

鹿田 恵

年重ね見えくるものがきつとある思考は元氣だ暗雲払う

結束 節子

参拝し吾子との良き日感謝しつ博多の空気深ぶかと吸う

姫野 洋子

朝やけの空いっばいに音をまき耕運機とらの老しきり手をふる

美座 時朗

確かここを左に折れて。折れるべき道がないことに気づくパンプス

山下 整子



左から今村専務、渡邊町長、今村社長

地域の福祉に役立てて

(株)オーレック 福祉車両寄贈

4月30日(金)、(株)オーレックから広川町へ福祉車両が贈られました。(株)オーレックからの福祉車両の寄贈は平成7年から行われており、今回で3台目となります。

今村社長は「日ごろから町民の皆さまのご協力により良い製品をつくらせていただいているお返しとして、福祉車両を寄贈いたします。ぜひ、町民の皆さまのために役立ててください」と話され、渡邊町長は「現在、コロナ禍により乗車人数が制限され、車両が多く必要となっている状況です。今回の寄贈は大変ありがたい、さまざまな事業で活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

まち子ちゃんと一緒に楽しく勉強を 広川町商工会青年部 文房具寄贈

贈られました。

上広川小学校と中広川小学校へテレビ、下広川小学校へ児童図書と棚も

創立50周年を迎えたことを記念して、令和元年度に商工会青年部が定規、消しゴムの5点。同月26日(月)には、令和元年度に商工会青年部が

れたのはノート、下敷き、えんぴつ、



4月7日(水)、
広川町商工会青年部から町内3小学校の1年生へ、広川まち子ちゃんのイラストが描かれた文房具が贈られました。今回贈ら

児童生徒の安全を守るために

福岡県トラック協会 横断旗寄贈

す」と話していました。

地域の皆さまのご協力もお願いし

故が起きないように、見守り活動など、

分会長の有馬さんは「今後も交通事故

安全のために活動しています。八女

全教室を開催するなど、児童生徒の



4月7日(水)
福岡県トラック協会筑後支部から町内の小中学校へ、まち子ちゃんのイラストが描かれた横断旗が贈られました。同協会は、各学校で交通安全

コロナ感染防ぐために 八女ライオンズクラブ マスク寄贈

から今回の寄贈が実現しました。

ナウイルスの感染予防に役立てて

の影響で中止。「広川町の新型コロナ

したが、今年は新型コロナウィルス

チャリティバザー」を開催していま

オンズクラブで「しょうがい者支援



4月13日(火)、
八女ライオンズクラブから広川町へ、除菌・抗菌ジェル72本と不織布マスク7500枚が贈られました。毎年、八女ライ

税への理解深めるために

八女法人会青年部会 税グッズ寄贈

行っています。

や納税の大切さを啓発する活動

を深めてほしい」と税の知識の普及

では、「地域の皆さんに税への理解

年を記念して行われたもの。同部会

今回の寄贈は、青年部会の設立30周



5月7日(金)、
八女法人会青年部会から町内3小学校の小学生へ、マスクや税についてかかれたマスクフォルダ、下敷き、クリアファイルが贈られました。